

平成24年第1回（3月）定例会 一般質問

3月6日（火）

2番 沓掛義範 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 地元企業との連携で農業所得の向上を	<p>昨年の葉たばこ農家の廃作により、130ヘクタールもの土地利用が課題となっている。</p> <p>今後の農地の有効利用計画は。また、地元企業との連携で農業所得を向上することができないか。</p>	市長	産業経済部長
2 ジオパーク等を生かした集客を	<p>豊後大野市は、雄大な景観をはじめ、石仏、石橋など、多くの観光資源がある。そこで、この観光資源を生かして、より多くの集客を得るために、例えば、竹田博多間を運行しているYOKAROバスの導入を考えてみてはどうか。</p>	市長	市長

18番 宇薄克哲 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 豊後大野市市民病院の経営安定化について</p>	<p>① 看護師確保について 現在では、国の半数以上の病床がDPC（診断群分類包括評価を用いた入院医療費の定額支払制度）を導入している状況で、市民病院においても、今後導入に向けて取り組む必要が生じてくると思いますが、その中で看護基準の引上げが大きなポイントになるのではと考えます。 病院は手厚い看護を行うことにより、診療報酬も高くなると聞いております。また、患者にとっても手厚い看護を受けることで安心して治療を受けることができます。患者満足度の向上と経営の安定化を図るためにも、看護基準の引上げ、そのための看護師確保は重要であると思います。看護師確保対策について、現状と今後の取組等について、見解をお聞きします。</p> <p>② 事務職員の専門化、プロパー化について 豊後大野市市民病院看護師、薬剤師等医療職は、病院で採用しておりますが、事務職員は市からの出向となっております。市役所とのローテーションで異動がされています。安定的経営を行うためにも、本来病院経営の重要な位置付けにある事務職員の専門化、プロパー化を図る必要があるのではないかと考えますが、これについて、市の考えをお聞きします。</p>	<p>市長 病院事業管理者</p> <p>市長</p>	<p>病院事業 管理者</p>
<p>2 自治会加入促進について</p>	<p>自治会は、地域における良好な生活環境を確保するため、環境保全や交通や防犯等、諸活動に自主的な取組をしているところであります。 自治会の加入に関しては、市としても生活環境の問題、安全の問題、地域福祉の輪づくり等、自治会の果たす役割は非常に重要だと認識しており、全戸加入が望ましいと考えます。そこで以下の点について伺います。</p> <p>① 現在の自治会への加入状況と加入促進の取組は。 ② 現在未加入者への市の対応は。 ③ 転入、転居等の窓口でのPRは。 ④ 今後の加入促進の取組について伺います。</p>	<p>市長</p>	<p>市長</p>
<p>3 イメージソングの制作について</p>	<p>合併8年目に入ろうとしています。平成23年度には、ふるさと祭りを一本化し、市の一体感ができつつあるよう感じます。 この一体感を更に深めるために、豊後大野市にふさわしいイメージソングが必要ではないかと考えます。そこで、見解を伺います。</p>	<p>市長</p>	<p>企画部長</p>

3番 和田哲治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 豊後大野市の基幹産業は農林業。予想を上回る「葉タバコ廃作面積」は、地域農業の大きな経営構造の変化となるが、喫緊の課題として市の営農指導体制の整備・充実について問う</p>	<p>① 身近にある「大分県農業技術センター」の研究成果の本市での活用については、これまでも訴えてきたが、市長の方針である「安全・安心な農産物づくりの推進」と「地域ブランド化を目指し儲かる農業」。その実現策は、どう具体化されているのか。また、その期待度の現状を問う。</p> <p>② 「農業振興センター」は本市の農業支援の核との位置付け。その体制を生かし、農業者に対して早期な情報提供と効果的な取組が必要との考えは強化されているのか伺う。</p>	市長	産業経済部長
<p>2 市内の農業生産に不可欠な農業用水利施設。その膨大な土地改良資産の機能維持・保全も、各土地改良区の昼夜を問わずの管理により維持されてきたが、急激な農業情勢の変化により、その組織運営にも危機感が増してきている。市の現状の認識と今後について問う</p>	<p>① 国の新政権の下、「農業農村整備事業予算」の大幅な削減が続いているが、これからは農地・水などの地域資源を最大限に有効活用すること。併せてそれをいかに次世代に引き継ぐかが「市内の12土地改良区」の最大の使命。 市の現状での認識と、その組織強化への助成策を求める。</p> <p>② 農業従事者の高齢化とともに、離農化や耕作放棄地の著しく増加している地域における「土地改良区や任意水利組合」の組織存続が危ぶまれている。 組織強化を目指した「1市1土地改良区」への統合再編計画について、行政（県・市）の、これまでの経過と今後の具体策を伺う。</p>	市長	市長

15番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 地域活性化対策について	① 各支所の現状について (ア) 総務市民課の業務及び職員数 (イ) 産業建設課の業務及び職員数 ② 各支所の今後の対応について 本庁と支所の果たす役割の明確化等、業務の見直しについて伺う。 ③ 豊後大野市の定住促進の方策について	市長	市長

4番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 子どもの虐待について	<p>最近、子どもが対象になる虐待、しかも家庭内での虐待による被害報道がいつも目に入ってくる。子どもに様々な虐待を繰り返し、目や耳を疑いたくなるような事例が多発している。</p> <p>子どもの安全・健全育成、人権を守るためにあらゆる機関等の連携した取組で、一人でも多くの子どもに援助が必要だと感じる。市と県との連携、他関係部署と情報を共有し、問題解決につなげなければいけない。そこで次の点を伺う。</p> <p>市内でも事例が確認されているのか。 現状とこれからの取組について伺う。</p>	市長	保健福祉部長
2 過疎地域活性化対応策について	<p>人口減少や高齢化等の進行が著しい状況が全国の地方自治体で深刻化している。我が市も当然、その自治体の一つだ。</p> <p>平成24年4月から、市内2か所で国の事業、地域支援員制度が取り組まれると聞く。集落の現状、課題、維持、活性化を図るに非常に意義ある制度とみられるが、腰を据えて取り組まなければ絵に描いた餅になりかねない。これらの市の関わり方と、他の事業との連携をどのように作っていかうとしているのか伺う。</p>	市長	市長
3 文化財の在り方について	<p>旧緒方町役場庁舎が緒方駅前の高台にたたずんでいる。この建物は、緒方町時代に国の有形文化財に登録されている。しかし、その取扱いについて、合併以前、取壊しや存続等の協議が激しくされ、少々の補修がなされたが、ほとんど手つかずのまま現在に至っている。外見上は、まだ維持ができると感じられるが、内部は天井が落ちておりボロボロである。周辺住民の安全、防犯等を考えたとき、早期の判断が必要と考える。市の対応を伺う。</p>	市長	教育長
4 消防の備品管理体制について	<p>全国的に消防関係の備品が盗難にあっているとの報道が多い。県内でも消防署や消防団の車庫内にある防火着や長靴、ヘルメット等盗難にあっている。</p> <p>我が市消防本部や消防署、各分署、消防団の車庫等、備品の管理は十分徹底されているのか。また、車庫等の整備は十分なのか伺う。</p>	市長	消防長

16番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 平成24年度予算編成について	① 予算編成に当たっての考察は。 ② 予算編成に至るまでのプロセスは。	市長	市長
2 市民病院における組織体制の現状と充実について	① 医療体制の現状は。 ② 機能評価の取組は。	病院事業管理者	病院事業管理者
3 三重総合グラウンドの施設整備について	① 現状をどのように把握しているのか。 ② 整備における方向策は。	教育委員長	教育長

12番 赤嶺謙二 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 三重総合高校の支援について	① 市内各中学校の三重総合高校受験生の数を伺う。また、各中学校の受験生総数との比率も伺う。 ② 現在の支援組織の状況は。 ③ 市内で唯一の高校に対する市民の支援意識の向上を、市としても考えるべきでは。	市長	教育長
2 三重診療所の廃止について	今回の廃止の決断を評価する。責任は市よりも県にあると思う。補助金返済の話など、もつてのほかであり、これまでの経過を踏まえた上で、市は毅然とした態度で県と向き合うべきでは。	市長	市長
3 職員懲戒審査委員会について	昨年の12月議会定例会で質問した人権侵害に関する職員懲戒審査委員会の状況は、その後どうなっているのか。	市長	総務部長
4 大衆浴場、三重温泉の閉鎖について	市内に唯一あった大衆浴場が、昨年12月に閉鎖した。大正11年に創設されて以来90年、大衆風呂文化の歴史が消えた思いである。利用者からは再開を望む声もある。市は、どのように考えているのか。	市長	生活環境部長

22番 伊藤憲義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 企業誘致について	① 現状の取組について伺う。 ② 市に与えるメリットとデメリットをどう考える。 ③ 市有の空き地や空き校舎が数多くある。有効利用の考えは。	市長	企画部長
2 観光協会について	① 現状と将来の展開は。 ② 経済団体との結びつきは。 ③ ツーリズム協会として飛躍を目指しているが、その内容は。 ④ 何を期待し何を望むのか。 ⑤ 本市の観光の浮揚を積極的に進めよ。	市長	産業経済部長
3 周辺町の対策は	地域コミュニティをどう考える。 周辺町の寂れようは思う以上に進んでいる。心の過疎になったとき政治には振り向きもしなくなる。 そこで、集落支援員の活用と地域担当職員制度の成果を問う。	市長	市長

19番 渡辺一文 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 市民病院について	市民病院の一年間の完治率はどのくらいか問う。 近頃、一部の看護師で態度や礼儀があまり良くないと耳にするが、なぜか問う。	病院事業管理者	病院事業管理者
2 上水道について	上水道の改修工事を計画しているようであるが、工事の方法について伺う。	市長	市長
3 平成23年産水稲について	平成23年産米は本当に不作であったのか。市としてはどのように考えているのか伺う。 また、市は平成23年産の作柄をどのように予測していたのか。	市長	産業経済部長

6番 小野順一 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 災害を防ぐ森林管理について	① 森林の皆伐が進んでいるが、その実態は把握できているのか。 ② 皆伐された、あと地については、どのような対応がなされているのか。 ③ 森林は長期間にわたっての整備が必要であるが、災害防止を含めた森林や木材の有効利用策は考えられないか、伺う。	市長	市長
2 農業振興について	人・農地プラン（地域農業マスタープラン）の取組状況について	市長	産業経済部長

17番 深田征三 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 病院事業について</p>	<p>(1) 市民病院三重診療所の廃止について</p> <p>① 廃止の理由は。</p> <p>② 平成22年10月1日、統合病院開設。平成23年3月には、現状把握ができたにも関わらず、今日まで廃止を延期した理由は。</p> <p>③ 県との統合における協議の場として、平成20年2月から6月までの間、設置された「市の地域医療を守るための公立病院のあり方検討委員会」や「地域医療検討専門家会議」、「統合病院開設準備委員会」等の議論・検討の中で、わずか半年後の予測ができなかったのか。</p> <p>④ 統合病院開設に係る市民懇談会での説明では、統合の経過、地域医療の現状と統合病院の目指す姿や、「新しい病院を立ち上げる、今・・・」は、何だったのか。</p> <p>⑤ 報道では、診療所は当時地元の強い要望があったとされているがその真実は。</p> <p>⑥ 報道による診療所廃止に対する県の対応は、まるで市の責任だと受け取れるが、統合の意味をはき違えているのでは。</p> <p>⑦ 廃止することにより、開設に伴う診療所の施設整備予算6,000万円、平成22年度決算額、約1,640万円、平成23年度収支予測約4,450万円、合計1億2,090万円の赤字経営を、市民には財政改革だ、厳しい財政の中にと訴えながら、どう処理されるべきものなのか。</p> <p>⑧ 廃止を契機とした反省に基づく、市民病院の健全経営と、実現可能な医師確保対策は。</p> <p>⑨ 廃止することにより、無人の施設となると考えるが、その対策は。</p>	<p>市長 病院事業 管理者</p>	<p>市長</p>

7番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 廃止の県有財産について	<p>① 平成 20 年 3 月に閉校した緒方工業高等学校の跡地利用については、大分県教育委員会は、一団のまとまった土地であり地元の地域振興のために、一体的に活用されることが望ましいという見解を示している。市は、今後の利活用についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>② 本年 3 月末に旧三重病院が全て廃止となる予定である。病院の建物は、耐震性もあり、市の活性化のためにも、今後の活用に期待している。市は今後どのような方向付けをもって県と協議しているのか。今後の対応について伺う。</p>	市長	市長
2 新庁舎周辺の整備について	<p>新庁舎の完成は、本年 12 月末となっている。駐車場等、市民が利用しやすい環境づくりが肝要である。現状は、周辺に国有財産や市有財産が混在しているが、これらの建物や土地を含め、周辺の整備計画について伺う。</p>	市長	企画部長

1番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 売り出せ、豊後大野	<p>① ケーブルテレビの市民チャンネルで放送されている市内の各種行事、伝統芸能、豊かな自然・地質遺産の紹介、「豊後大野の風景」を、市外や県外へ発信してはどうか。</p> <p>インターネットを利用しての配信はできないか。さらに、郷土出身者への発信が、効果が高いと思うがどうか。</p> <p>② 地元農産物やその加工品を、市外、県外へ向けて販路を築こうとしている地元事業者への支援は、どのようなことを行っているか。豊後大野ブランドの確立に向けて、統一資材を作れないか。</p> <p>展示会や商談会にはたくさんのヒントやアイデアがある。そのような場へ若い方が出向くことについて、支援はできないか。</p> <p>③ 埋蔵文化財の記録は、どのように生かされているか。ジオパークの推進、ツーリズムの振興とともに、埋蔵文化財の利活用はできないか。埋蔵文化財の位置付けはどうなっているか。</p> <p>三重町の新浄水場予定地で、遺跡の発掘調査が行われている。この陣箱遺跡は市内でも有数の遺跡と思うが、新浄水場の建設地として適当なのか。</p> <p>④ 市内への定住促進策の一つに空き家の利活用がある。調査が行われてきた空き家情報はどうなっているか。いわゆる「空き家バンク」に登録して、全国へ向けて発信してはどうか。</p> <p>⑤ 他の地で育った方が市内に定住する場合、習慣や考え方など、地域の方とのコミュニケーションに問題が発生することが懸念される。今後の自治会活動については、柔軟な対応が求められると思うが、どのように考えているのか。</p>	市長	市長
2 子どもの医療費、窓口負担をゼロに	<p>佐伯市が、4月から中学生までの医療費について、入院、通院に関わらず医療機関での窓口負担をゼロにするという。本市でも実施していただきたい。</p>	市長	保健福祉部長
3 ゴミの最終処分について	<p>① 大分県知事が、震災被災地で発生したがれきの処分について、「全国的な視点で考えてみる必要がある」と、前向きな姿勢をみせている。本市はどう対応するのか。</p> <p>② 本市がごみの飛灰の最終処分を委託している佐伯市直川の処分場が、平成26年度で満杯になるといいますが、その後はどうするのか。</p>	市長	生活環境部長